

1 市民の皆さんのいのち 暮らしをまもる

■ コロナ禍における災害対策

- 避難所の備品充実

災害発生時の住民の避難先として開設する避難所に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策用備品（マスク、非接触型体温計等）の追加購入をする。

- 民間との連携

災害発生時、感染防止のための間仕切り及び簡易ベッドの整備について、民間との協定締結を検討する。

■ ころとからだの健康のために

- オンライン面会等の環境整備を促進

感染予防のため面会等が制限されている介護保険事業所及び障害福祉施設等のオンライン面会、市への各種相談業務等のオンライン化に必要な環境の整備をする。

- オンライン健康相談の推進

LINE 等のアプリを活用し、自宅でできるオンライン健康相談(フレイルの改善及び解消など)の推進をする。

- デジタルデバйд対策

高齢者をはじめとする ICT に親しみのない市民に試行的にタブレット端末を貸し出すことにより、デジタルデバйд（インターネットの利用格差）の解消を図る。

- 感染拡大防止に向けた啓発・広報

有識者監修のもと、感染対策に関する周知啓発のためのポスターの作成、また、第2波の発生など、緊急を要する際に、広報かまくら臨時号を発行する。

■ 新生児とおなかの中のあかちゃんへの給付金

- 新生児とおなかの中のあかちゃんのための特別給付金

国の特別定額給付金の受給対象とならなかった、国の給付基準日の翌日以降に生まれた新生児及び妊婦の方のおなかの中のあかちゃんに 10 万円を給付する。

2 市内事業者を全力支援し 経済をまもる

■ with コロナの市内経済の活性化

- 鎌倉応援買い物・飲食クーポンの配付

市内消費を喚起することで、地域経済と地域活力を回復するため、市民一人あたり 3,000 円分のクーポンを配付する。

- 商店街の活性化を支援

「鎌倉応援買い物・飲食クーポン」の利用期間に合わせ、その効果を高めるために商店街が実施する販売促進活動の支援をする（商店街活性化事業費補助金の拡充）。

■ 市民の暮らしの充実のために

- 鎌倉市民テレワークの推進

テレワークの導入企業を増やし、感染拡大予防、新型コロナウイルスの第2波発生時における業務継続の下地をつくり、ワーク・ライフ・バランスの実現を図るため、ニーズ調査を実施する。

- 文化活動への支援

活動や表現の機会が失われるなど、大きな影響を受けている文化・芸術関係者の方々からの相談に応じ、国・県の補助メニューの紹介、関係者間のマッチングなどの支援をワンストップで行う窓口を創設する。

- 文化施設の利用に係るキャンセル料の返還

鎌倉芸術館において、感染拡大防止及び国のイベント制限緩和の考え方により実施が困難となったものに限り、キャンセル料を不要とする対応を実施する。（6月1日から実施）

3 鎌倉のみらい 子どもたちをまもる

■ 子育て関連施設・学校サポート

- 感染対策のための備品購入等
感染防止のために必要な備品（マスクや手指消毒用エタノール等）の購入や購入費の補助を実施する。
- 支援児童等の見守り事業の実施
養育面で支援が必要な家庭に対し、配食サービスの提供を通じて家庭状況の見守りを実施する。
- GIGA スクール構想の前倒し
文科省が示すG I G Aスクール構想に係る国庫補助金前倒し交付に伴い、タブレット導入計画を前倒しして、今年度中にタブレット端末を児童・生徒1人に1台ずつ配付する。
- オンラインによる親子の健康づくり
オンラインによる双方向の運動プログラムを提供し、コロナ禍での子どもたちの健康維持・身体づくりとともに、家庭での親子のコミュニケーションを促進する。
- 学校給食調理業者への衛生管理徹底改善のための設備等購入費の支援
学校給食の食材を加工調理している事業者へ自動手洗消毒器などの購入費を支援することで、衛生管理を徹底・改善する。